



職員・TAのためのアカデミックライティング指導法

堀, 一成

(Citation)

附属図書館協同学修シリーズ:1-33

(Issue Date)

2015-12-15

(Resource Type)

learning object

(Version)


Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/90003021>



職員・TAのための アカデミックライティング指導法



大阪大学
全学教育推進機構
教育学習支援センター
附属図書館 研究開発室

堀 一成





今日の内容

- 新入生配布ライティング小冊子と教員用マニュアルの紹介
- 堀など大阪大学が実践している
(図書館を中心とした)
ライティング授業・講習の事例紹介
- 新入生に最低限教えるべきこと？
- 参加者事例に基づく
科目内指導へのグループワーク
- これからのライティング指導について





自己紹介

- 1・2年生を対象とする共通教育
(教養教育)を担当する組織の教員
主な研究分野は 多言語資源・数理工学など
- 旧大阪外大では情報リテラシー教育
(IT分野の意味での)や
プログラミング教育を担当
- 旧大阪外大 情報処理センター長
(平成16年4月～平成19年9月)
情報システムの運営や監査なども担当
- 最近、図書館利用教育・自主学習支援など
学習者中心教育の試みに仕事が生かされる





大学に求められる学びのあり方の変化

旧

教員→学生 の 講義形式
知識の獲得・調べたことをまとめる



新

相互協調学習
(教員はサポート役)
{問題発見法・学ぶ方法・
学びの姿勢}の獲得
自らの考えを他人に発信

相応しい場の提供が必要!





第2期教育振興基本計画(中教審)

2013年4月25日

- 8-1 改革サイクルの確立と学修支援環境整備
- …ティーチング・アシスタント等の教育サポートスタッフの充実, 学生の主体的な学修のベースとなる図書館の機能強化, ICTを活用した双方向型の授業・自修支援や教学システムの整備など, 学修環境整備への支援や…

【答申P.56より引用】





大学教育質的転換答申(中教審)

2012年8月28日

- 4. 求められる学士課程教育の質的転換
- …教員と学生が意思疎通を図りつつ、一緒になって切磋琢磨し、相互に刺激を与えながら知的に成長する場を創り、学生が主体的に問題を発見し解を見いだしていく能動的学修(アクティブ・ラーニング)への転換が必要である。
【答申P.9より引用】





大学教育質的轉換答申(中教審)

2012年8月28日

- (学修支援環境の整備についての課題)
- …主体的な学修の確立の観点から、学生の学修を支える環境を更に整備する必要があることである。…主体的な学修を支える図書館の充実や開館時間の延長、学生による協働学修の場や学生寮等キャンパス環境の整備…

【答申P.18より引用】





ミニワークその1

- これまでみなさんがなにか書くことについて指導をした経験があれば、その際に遭遇した「困った文章やレポート」の例をホワイトボードに書き出してください。(10分)
- 経験のない方は予想してください。
- グループで、その例をもとに、それにどう対処したか、話し合ってください。(5分)
そのあとグループ発表。(各グループ2分)





大阪大学 アカデミック・ライティング 小冊子 第2版 の紹介

- アカデミックライティングの
必要事項をコンパクトにまとめた
小冊子(A5 32ページ)
- 4月新生生全員に配布した
- ライティング時のアウトライン設計とその詳細化
について加筆
- 共通教育科目担当教員に対し、
冊子を利用したレポート課題を出し、
採点フィードバックしてもらうことを
協力要請した(シラバス作成時に協力要請)





ライティング指導教員マニュアル

- 小冊子を使って教える教員のための指導内容の手引き(サンプル提示)
- 阪大のライティング教育の現状
- ライティング指導すべき項目案
- ルーブリックの利用も提案





大阪大学でのアカデミック ライティング指導のおもな試み

- 全学教育推進機構 坂尻准教授・堀担当
基礎セミナー 15回授業
各数名の学部1年生など 3科目実施
- 堀担当(附属図書館のイベント)
レポートの書き方講座
20名くらいの学部1年生など 全3回
論文の書き方・文献の読み方プチゼミ
10名くらいの学部上級生・大学院生
全4回
- その他部局でも各種イベントあり





レポートの書き方講座

- レポート未経験者を対象にごく基本の項目に絞って実習する年度中に数回実施
- 1. パラグラフ・ライティング
- 2. 引用のマナー
- 3. レポートの形式を整える
- 年ごとに規模を拡大
講師役は教員(堀)から図書館TAに移行





受講者が特に困っている点

- レポートの指示内容が不明
- 指示はわかっても、何を書いたらいいかわからない
- 引用の仕方がわからない
- 書き出しをどうしたらいいかわからない
- 学術的文章を書くためのプロセスがわからない
- 感想文などの主観的な文章は書き慣れているが、客観的な文章表現は苦手





講習会受講者の感想など

- レポートのコツがわかった気がする
- 知らなかった図書館の使い方を教えてもらってよかった
- リファレンスコーナーで相談できるとは知らなかった
- 全15回の授業にしてほしい
⇒ H24年度から実現(全学教育推進機構)
- 「論文・卒論の書き方講座」も希望します
⇒ 図書館講座として実現





ライティング基礎セミナー

- 前期4コマ、後期1コマ 15回正規授業
(受講者は各20名くらい)
- 図書館での情報探索、
リーディングのテクニック、
プレゼン準備なども実習
- グループ(4~5人)でテーマを決め
個別にライティングにチャレンジ
- ほぼ毎回宿題を出させて、
フィードバック





種々事情下でのライティング指導

- とりあえず長文レポートが書けないと言ってくる！
⇒ 段階を踏んで書く方法を教える
- ライティングのみのことに時間が割けない！
⇒ 少しの内容を細かく入れ込む
- フィードバックがうまくできない（時間が足りない）！
⇒ ルーブリック・TAの活用
- コピペレポートに困っている！
⇒ 自覚を促す、OKな方法を指導





学生(特に学部新入生)は アカデミックライティングの基本項目を知りません

- 怒らないで簡単なマナーを
まず知らせてください(あるいは一緒に確認)

用紙のサイズ

表紙が要るか、要らないか

用紙の止め方(上、左、右、など)

学術的文章の特徴

(用語・論証のあり方など)

事実と意見・考察の書き分け

参考文献の示し方(分野による)





教える側も「どう教えると良いか」 を学びましょう

- 「どう教えると良いか」
⇒ インストラクショナルデザイン
- 目標を細かな段階に分けて提示する
(スモールステップの原則)
- 即時フィードバックを心がける
- 抑制的に情報を提示する
(一度に全部説明や指摘をしてしまわない)
- 相談者のニーズが何かを把握する
- 相談者の意図しているゴールを確認する
- 相談者の学習態度を確認する

向後千春 著「上手な教え方の教科書」技術評論社 より内容を抜粋





何を書いていいかわからない

「(´～`;)」

レポート課題

⇒ 「問と答」ペアに展開

- 「大阪大学の共通教育について述べよ」を
問

「大阪大学の共通教育の特徴は？」

答

「全学部出動態勢で実施している
ことです。」

⇒ どうしてこの答なの？ 根拠は？





アイデアのまとめ方も ぜひ教えてください (みなさん独自の方法でOK)

- とりあえず書きだす
(ブレインストーミング)
- 付箋を使ってまとめる KJ法？
- マインドマップを書く
- 自己流らくがき





パラグラフ・ライティングを 教えてください

- 漠然と文のかたまりを作らない
トピックセンテンス
サポートセンテンス(その他の文)
トピックと無関係な内容を
パラグラフに入れない
- 実は高校英語で基本を習っている事も

日本語は関係ないと思っていた
との発言も！





リーディングもアドバイス

- 教科書・配布レジュメを
レポート文案例と意識させ読ませる
(一部丸写しは良い訓練?)
- 気に入っている参考図書を紹介する
- 新聞・雑誌はちょっと的外れ?
学部新生に学術論文は早すぎ?





限られた時間の中で

- 他の取り組みに投げる
(図書館講習会、ガイダンス室、
各種学習サポート、書き方本)
- ルーブリックを活用する
- TAに手伝ってもらおう





ルーズブリックを活用しましょう

- 提出物の評価項目と評価基準を明示しておく
- 採点は該当箇所を○つけるだけ
- 課題を出すときに
学生に提示することが重要
- 採点結果も返すことが重要





ミニワークその2

- ライティング指導に使えるルーブリックを作ってみましょう
- サンプルを参考にしていただき、これまで指摘したことのある評価項目や、今後機会があれば指摘しようと思う評価項目を書いてください。(10分)
- 元の課題情報があれば上に書いてください。
- グループで、その例を見せ合い、評価項目のあり方や、課題の出し方にさらに工夫できないか、話し合ってください。(10分)





TAを活用

- TAはレポート採点可能ではありませんか？
(大阪大学では採点のみ可、成績評価はだめ)
- レポートコメント作業は
院生にとって大きな学びの機会と強調
- コメント基準は良く打ち合わせする
(ルーブリック活用)
- 大阪大学では、ライティング支援TA養成も
視野にいれた大学院科目
「学術的文章の作成とその指導」を
開設しています





コピペ対策： アカデミック世界の一員であるとの 自覚を促す

- 誇りを持たせる
(大学生は、否応なく
アカデミック世界の一員だと説明)
- コピペがいかに泥棒な行為であるか
説明する
(試験カンニングと同じで、[大阪大学の場合]
半期単位全滅の話もしてよいかも)





コピー対策： 引用と参考文献提示法を なるべく詳しく説明してください

- 学生は、OKな方法を
知りたがっています
- 教員や分野によってルールが違うので
各自で説明してください
(あるいは一緒に確認してください)





高等学校「言語活動」について

- 新学習指導要領
(平成28年3月卒業生から)
- すべての単元が対象
- **思考力・判断力・表現力の育成**
- アクティブラーニングの姿勢も重視
- ここ数年の新入生の変化に着目





高等学校等の新学習指導要領の 実施に当たって(通知)

- 平成25年4月1日
- 言語活動を充実する趣旨を確認し、各教科等の目標と関連付けた効果的な指導を行うこと
より**抜粋**
- 「新しい学習指導要領においては、国語をはじめ各教科等において、説明、論述、討論、記録、要約等の言語活動の充実を図るよう定めている」
- 「各学校においては、これまでの言語活動を通じた指導について十分検証しつつ、各教科等の目標と指導事項との関連及び生徒の発達の段階や言語能力を踏まえて言語活動を適切に位置付け、授業の構成や指導の在り方を工夫改善していくよう一層努められたい。」





今後の展開

- (神戸大学も大阪大学も)
大規模ライティングセンターが無い！
⇒ 全教員・全職員が責任を持つ！！
⇒ 各種テキスト・マニュアル・FD
- 新指導要領習得学生に期待
⇒ 過大な期待はできないか？
- 学内の類似の試みをつなげていく





まとめ

- 最低限教えるべきこと

課題→レポートにどう持っていくか
パラグラフ・ライティング

アカデミック倫理の気の持ちよう
(コピーダメです！だけでなく)
教員が期待している提出物の形式

- 教員・指導者が工夫すべきこと

課題の出し方(教員)
採点・フィードバック

(できるだけ時短で)

サポート利用の呼びかけ(教員)
学内活動に気を配る(連携に協力を)



神戸大学 ラーニングコモンズ開設記念セミナー 2015/12/15

「職員・TAのためのアカデミックライティング指導法」 サンプルループリックシート

課題『 』

課題内容：

評価項目	松	竹	梅

評価合計 10点